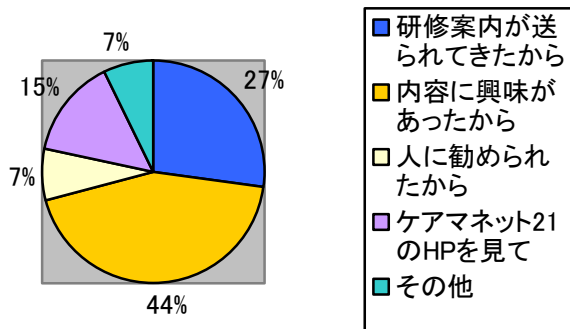


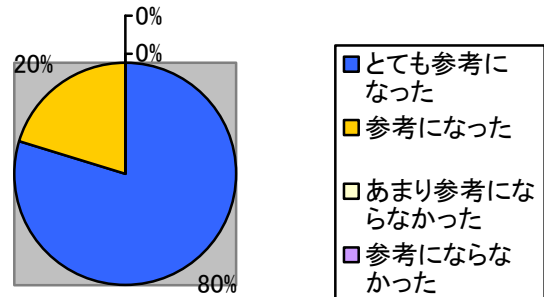
NPO 法人ケアマネット 21・一般社団法人日本ケアマネジメント学会共催研修会 アンケート結果  
「高次脳機能障がいについて」

【参加者】 ケアマネット 21 会員：49 名 非会員：30 名 計 79 名  
アンケート回答者：55 名 回収率：69.6%

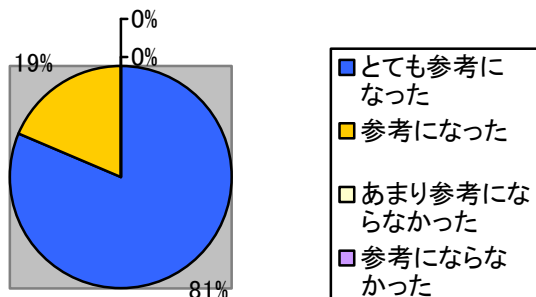
● 今回の研修参加について



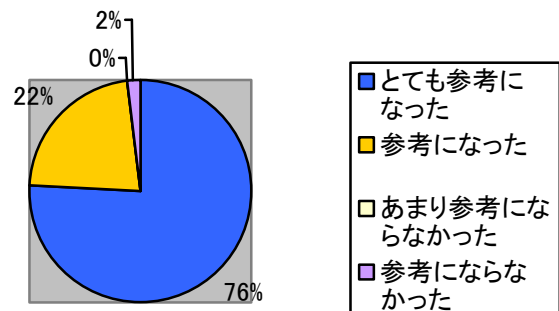
● 講義 1（原先生）の感想をお聞かせ下さい。



● 講義 2（和田先生）の感想をお聞かせ下さい。



● シンポジウムの感想をお聞かせ下さい。



● 講義 1（原先生）の講義について感想をお聞かせ下さい。（自由記述）

- ・高次脳機能障がい、わかりにくい、理解されにくい障がいであることは感じていたが、その対応や脳のしくみについて、非常によく理解できた。とても聞きやすく、わかりやすい説明だった。ありがとうございました。
- ・脳のどの部分を損傷すれば、どのような部分に障害が出るのか分かった。また、周囲の環境によって症状が出なくなること、その人を把握することが支援するうえで大切だとわかった。
- ・脳の仕組みから捉える障害について、とてもわかりやすく学ぶことができた。高次脳機能障がいと一括りに捉えていた疾患が、原因疾患（外傷によるものか、病気によるものか）などで対応が違って来る事など知ることができ、もっと深く学びたいと思った。
- ・脳のどの部分に障害があり、そのためにどのような支援が必要になっているか考えて、実践場面でのアセスメントを行いたい。

- ・高次脳機能障がいについて、これまで理解できていなかった。今回の研修は参考になった。
- ・高次脳機能障がいの対応方法や関わり方などが理解でき、とても勉強になった。
- ・高次脳機能障がいを抱えている方に、どのように話しかけたらよいか悩むことが多かったので、対応方法がわかり今後に生かせる。
- ・脳の働きと症状の関係について、もう少し時間をとって詳しく聞きたかった。
- ・対応方法や関わり方に関して、もっと具体的に知りたいと思う。
- ・「こだわり」と捉えていた部分が、本人の葛藤からくるものであるというお話しは、とても大きな衝撃を受けるとともに、自分の知識不足を痛感し、深く反省させられた。今後、当事者との関わり方、見方を変えていきたい。
- ・1時間という短さは残念でした。わかりやすく説明をしていただいたので、もっと長い時間話しを聞くことができたら学びがより深くなったのではないかと思います。高次脳機能障がいの方を支援したことがあり、もっと早くに今回の研修内容を聞く機会があれば、対応が変わったのではないかと反省した。
- ・作業療法士として勤務した経験があり、現在は相談員として介護保険・障害福祉サービスに携わる中で、復習になった。脳機能による症状の理解、それを基にして生活形成を自立的に取り組めるよう、今後の支援を見直していきたい。

#### ●講義2（和田先生）の講義について感想をお聞かせ下さい。（自由記述）

- ・高次脳機能障がいに関する利用制度について、具体的な例を用いてわかりやすく話していただいたので理解できた。
- ・事例を通して利用できる制度や利用できる施設、サービスの費用負担など情報を得ることができた。
- ・精神保健福祉手帳の事や年齢などによる制度の違い、費用負担、福祉的就労など分かりやすく説明していただき、とても勉強になった。
- ・精神保健福祉手帳を申請できること、障害支援・介護保険が同時に利用できることが理解できた。
- ・制度を利用するにあたり、どのような制度を利用することが対象者にとって最も有効なのかを考えなければいけないことがわかった。
- ・高次脳機能障がいの方の支援について、どの制度が使えるか悩むことが多い。地域の支援機関を活用していきたい。
- ・制度やしきみについては、曖昧な理解しかできていなかったもので、研修を通して整理できた部分が多々あった。
- ・精神保健福祉手帳の取得について、もっと深く知りたいと思った。
- ・福岡市は支援が進んでいて羨ましかった。北九州市でも同じ様に制度の利用や移行の手続きがとれるようになればと思う。
- ・北九州市にも福岡市のような通所施設がないのが残念である。通所施設があると助かる。
- ・内容は素晴らしかったが、資料が少しわかり辛かった。

#### ●シンポジウムについて感想をお聞かせ下さい。（自由記述）

- ・それぞれの立場からのお話しがあり、興味深く聞かせていただいた。ケアマネジャーは高次脳機能障がいについて学ぶ機会が少ないのでとても勉強になった。
- ・それぞれの立場からの意見が、一つの方向（ゴール）を目指すチームとなっていくために必要であると痛感した。また、当事者のできる事、思いを受け取りつつサポートを考えることが重要だと思った。ケアマネジ

ャーとして全てを深く身につけていく事は難しい面もあるが、少しずつでも深めていく事を今後も考えていきたい。

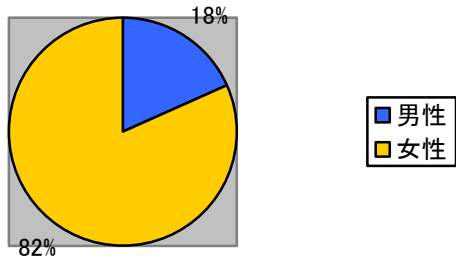
- ・登壇者のそれぞれの言葉を聞き、何か一つでも新しいものができれば良いと思う。行動を起こさなければ何も始まらない。知ることが必要であり、どう行動を起こすかが大切だと思う。
- ・高次脳機能障がいを抱えている方を支えるために自分達にできること、まずは疾患や本人の状態を理解することから始めたい。障害を受け入れるために学ぶことが必要だと思う。
- ・それぞれの立場の話しを聞くことができ、今後は情報の発信とマッチング、質の向上について考えていきたいと思った。
- ・自分達にできる事について、改めて考えさせられた。
- ・医療、介護、行政、当事者等と連携をとることは大事だと感じた。今後勉強会等でどんどん進んでいく事を望む。
- ・高次脳機能障がいについて社会的認知が低いと感じた。障害手帳・福祉手帳等の手続きも簡素化すべきではないか。複雑で見えにくい障害で幾重にも苦悩があり、これから先の人生の保障が必要と思われる。
- ・家族の方の話しは当事者としての思いが伝わってきた。当事者を中心とした支援をしなければならないという思いを強くした。ケアマネジャーとしてもっと勉強して、本人の力を引き出せるようにしたい。安藤氏が言われた「語らいの場」には「当事者、家族、専門職」の場としていただければと思う。今後、相談支援員と一緒に高次脳機能障がいの方の支援について勉強会をしていきたいと思う。
- ・石井氏の当事者および家族としての事例、内容はとても参考になった。他人事ではない自分の事として考えさせられる内容だった。
- ・当事者家族の話しを聞け、白木氏からケアマネジャーとして今後大切な事は何かを教えていただいたので、高次脳機能障がいについて、しっかり学んでいこうと思う。支援するうえで学んだことを生かしていきたい。家族も悩んでいるので、高次脳機能障がいの「家族のケア」ができる所、「家族の会」等が北九州市でもできれば良いと思う。石井氏、安藤氏に期待します。
- ・座長の的確な進行のもと討論が展開されたので、楽しく聞かせていただいた。

●今後、企画して欲しい研修内容や活動内容などがありましたらご自由にご記入下さい。

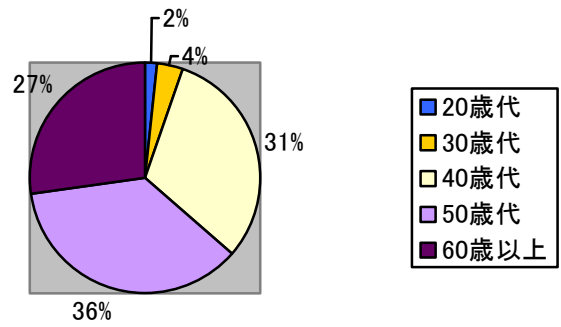
- ・引き続き高次脳機能障がいについての研修会・勉強会（具体的な対応など詳しく学びたい）
- ・知的障害や発達障害を抱えている方の支援について
- ・精神疾患を抱える利用者や家族の支援について
- ・困難事例、特に家族の理解が得にくい事例についての対応を学びたい。
- ・成年後見制度について
- ・スーパービジョンについて
- ・障害福祉制度について
- ・老々介護が多いので、高齢者が身体的に負担なく介護ができるような支援やその方法について学びたい。
- ・シンポジウム形式の研修会

●アンケート回答者の属性について

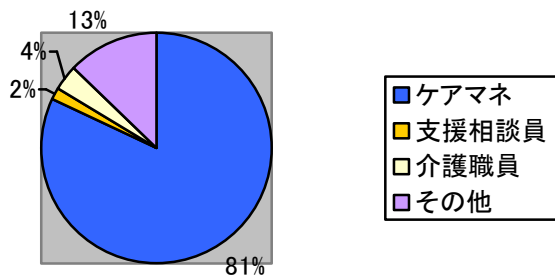
【性別】



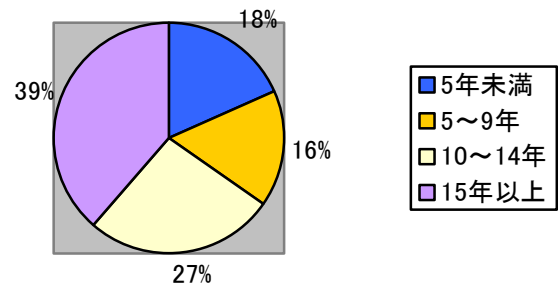
【年代別】



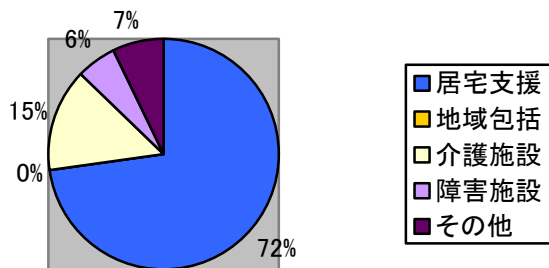
【職種について】



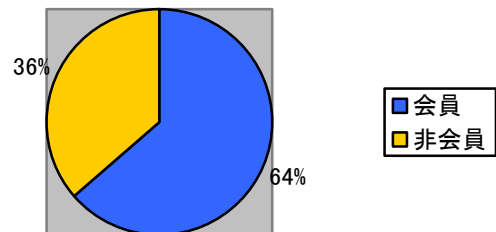
【ケアマネジャーとしての実務経験】



【所属について】



【ケアマネット21の会員ですか？】



以上

皆様、アンケートへの回答、ご協力ありがとうございました。  
今後の活動の参考にさせていただきます。